

CELEBRATING THE ICONIC

Jimi Hendrix



RAYMOND WEIL
GENEVE

PRESS KIT 2019
FREELANCER JIMI HENDRIX LIMITED EDITION

JP



ロック界のレジェンド、ジミ・ヘンドリックスとコラボレーション フリーランサーコレクションの限定モデルを発売します

スイスの独立時計メーカー〈レイモンド・ウェイル〉は、ロック史上最高のギタリストと評価されるジミ・ヘンドリックスにオマージュを捧げるコラボレーションウォッチを発表いたします。1969年に米国の農場で開催された世界初の大規模野外コンサート“ウッドストック・フェスティバル”にて、特別な輝きと存在感を示したジミ・ヘンドリックスのパフォーマンスにインスパイアされたデザインを施しています。

今年はウッドストック・フェスティバルが50周年を迎えます。これは、ヘンドリックスが、アメリカ国歌である「STAR SPANGLED BANNER (星条旗)」を披露した、歴史上最も重要なライブ音楽イベントの1つです。

〈レイモンド・ウェイル〉は、ジミ・ヘンドリックスの自由奔放さに着目し、コラボレーションウォッチのベースモデルに、自由精神を意味する「フリーランサーコレクション」を選びました。ダイアルのディテールには、彼の使用していた有名なエレクトリックギター、1968年のフェンダー社のストラトキャスターを思わせるデザインが施されています。ギターの指板上に打ち込まれた棒状の金属「フレット」を模した、9本のインデックスマーカーに、ギターの弦の本数をイメージさせる6個の円が表されています。

ジミ・ヘンドリックスは、右利き用のギターを逆さに構え左で弾くテクニックで知られており、それをイメージしたフェンダーギターのアイコンをクロノグラフ針にデザインしました。ジミは、ウッドストック・フェスティバルのステージで、シアンブルーが印象的な衣装を身に纏い、アズテック柄と呼ばれる幾何学模様のギターストラップを使っていました。シアンブルーのカラーリングは、サブダイヤルやクロノグラフの針などのアクセントカラーに、ダイアルにはアズテック柄のエンボス加工を施し、偉大なライブステージの光景を時計デザインに落とし込みました。

〈レイモンド・ウェイル〉の時計職人によって、ジュネーブで製造されたタイムピースは、マット仕上げのオリジナルクロノグラフプッシュボタンとクラシックなブラウンレザーストラップでフリーランサーコレクションのケースデザインを維持しています。タキメーターリングには、ジミ・ヘンドリックスの名前とともに彼の名言である「Music is my Religion (僕にとって

て音楽が宗教なんだ)」という言葉が添えられています。ケースバックには、オフィシャルグッズにのみ印すことが許される、オーセンティック・ヘンドリックス社のロゴが施されています。

「この度、レイモンド・ウェイルと協力できたことを光栄に思います。このコラボレーションウォッチの、作品の品質と美しさは申し分のないものであり、ジミと彼の音楽は、時代を超越しているという感覚を与えてくれます。この時計により、ジミは私たちに時間という贈り物を与え続けてくれるでしょう。」ジミ・ヘンドリックスの義理の妹であり遺産管理団体「エクスぺリエンス・ヘンドリックス社」のCEOを務めるジェイニー・ヘンドリックスは言いました。

レイモンド・ウェイルのCEO、エリー・ベルンハイムは次のように述べています。「世界最高のギタリストを称えるために、この最新モデルを〈レイモンド・ウェイル〉のミュージックアイコンシリーズへ追加し、オーセンティック・ヘンドリックス社と協業できたことは大変名誉なことです。」

このフリーランサーは、世界中でわずか500本の限定で、ジミ・ヘンドリックスのファンにとってのマストハブアイテムです。それぞれの時計には、限定ナンバーが刻印されたケースバックと、さらに、ジミの義理の妹、ジェイニー・ヘンドリックスが署名した「Certificate of Authenticity (本物である証明書)」が付いています。

ウッドストック・フェスティバルでのジミのパフォーマンスに敬意を表して、彼の衣装に発想を得たブルーとホワイトのスペシャルボックスにパッケージングしました。ボックスの内側は、ジミらしいサイケデリックな印象のタイダイ柄でデザインされており、時計を誇らしげに飾ります。

#RWJimiHendrixを使用して、ソーシャルメディアネットワークに関するディスカッションに参加しよう！

お問合せ: RAYMOND WEIL Genève
prdepartment@raymond-weil.ch
www.raymond-weil.com/en/press-news/



FREELANCER JIMI HENDRIX™

LIMITED EDITION

テクニカルデータ

7730-STC-JHDX1

ムーブメント

機械式クロノグラフ、自動巻き、デイト表示

パワーリザーブ

48時間

石数

25石

機能

時計 デイト表示

クロノグラフ

60秒積算計 | 30分積算計 | 12時間積算計

ケース

ラウンド - ステンレススティール製 (グレーPVD加工)

42 mm径 | 13.8 mm厚

リュース

ブランドイニシャル“RW”を施したねじ込み式リュース

風防

サファイアクリスタル (両面無反射防止加工)

ダイヤル

グレー

ギタリストのジミ・ヘンドリックスをイメージしたインデックス

(ピックアップと呼ばれるエレキギターの心臓部となるパーツを模したデザイン)

針

ガルバニック加工、バー針

時分針

ニッケル加工のマイクロボール - サンドブラスト仕上げ、ホワイトルミナバ

秒針

ギターヘッドの形をしたカウンターウェイト - ジミ・ヘンドリックスがハイギターを保持して演奏するために使用した方法のように逆向きになっています。ブルーのカラーリングは、彼のライブアルバム「ウッドストック」のカバージャケットで着用している衣装に由来します。

ケースバック

ねじ込み式、ジミ・ヘンドリックスのロゴが施されたサファイアクリスタル

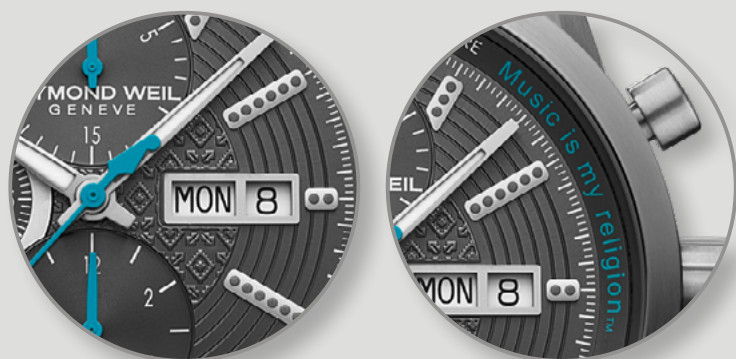
ストラップ

カーフレザー

レイモンド・ウェイルのイニシャルRW装飾を施したダブルプッシュ式フォールディングクラスプ

防水性

10 気圧





レイモンド・ウェイルとは

「レイモンド・ウェイル」は、1976年、レイモンド・ウェイルという名の時計職人により創業した、スイス・ジュネーブに本拠を置くスイスの時計ブランドです。ジュネーブでも名高いラ・ショー・ド・フォンで組み立てられ、クリエイティブで手に届く高品質なスイス製ウォッチです。レイモンド・ウェイル一族に脈々と流れるインスピレーションの源は《ミュージック&アート》。この豊かなクリエイティビティと、高い技術と高い信頼性は、誇り高いスイスメイドの基準を満たし、時代を超えて愛される気品溢れるコレクションに反映されています。また、著名なアーティスト、有名音楽レーベル、世界的コンサートホールなど国際的パートナーシップも組み、まるで音楽家が傑作を創るように生まれた腕時計は、現在世界95ヶ国3000店舗で展開しています。

Follow us on:

ジミ・ヘンドリックスについて

20世紀で最も創造的で影響力のあるミュージシャンの1人として世界中で認められたジミ・ヘンドリックスの革新的なエレクトリックギタースタイルは、ジョージ・クリントンからマイルス・デイビス、ジョー・サトリアーニからジョニー・ラングまで、多くの現代ミュージシャンに影響を与えました。ジミは、楽譜は読めませんでしたが、B.B.キング、マディ・ウォーターズ、ハウリン・ウルフ、バディ・ホリー、ロバート・ジョンソンなどのアーティストの影響を受け、5ドルで買った中古のアコースティックギターを使用して最初に演奏するようになりました。後に彼の父がスプロオザーク1560Sというエレキギターを最初に彼に贈ったとき、彼は音楽界の常識を変えました。

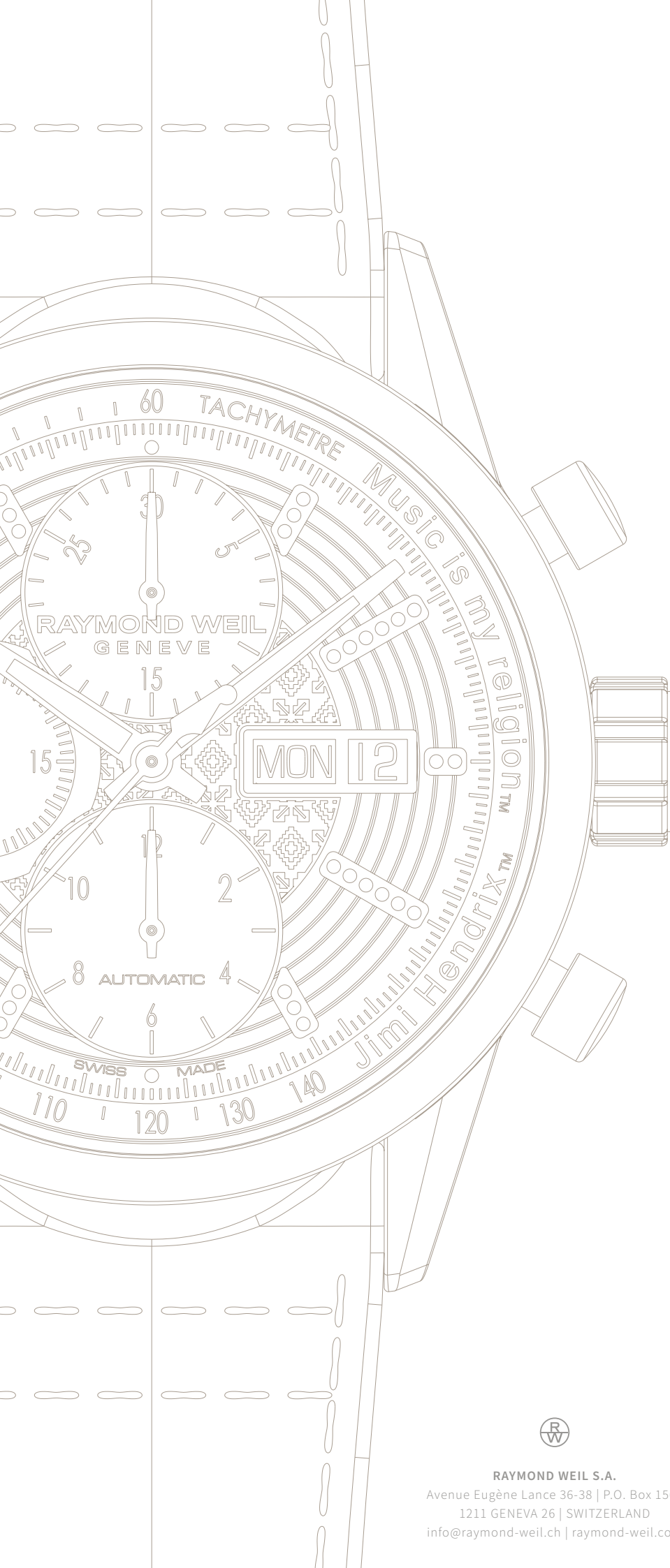
短いキャリアの中で素晴らしい曲のコレクションを生み出したジミ・ヘンドリックスは、ブルース、バラード、ロック、R&B、ジャズの影響を受けた新しいサウンドを作り上げ、ロック音楽の歴史の人物として、最も人気のある一人として知られています。1967年にリリースされた「ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスペリエンス（ジミ・ヘンドリックス、ドラムのミッチ・ミッチェル、ベースのノエル・レディングで結成されたロックバンド）」のデビュー・アルバム『アー・ユー・エクスペリエンス?』には、当時の代表曲であった「ヘイ・ジョー」、「パープル・ヘイズ」、「ザ・ウインド・クライズ・メアリー」、「フォクシー・レディ」、「ファイアー」、「アー・ユー・エクスペリエンス?」が収録され、現代でも史上最も人気のあるロックアルバムの1つであり続けています。

ヘンドリックスの作る伝説は、それだけにとどまりません。1967年6月に開催された「モンタレー・ポップ・フェスティバル」で、演奏中にギターに火を点けたパフォーマンス。1968年にリリースした同バンド2作目となるスタジオ・アルバム「アクシス: ボールド・アズ・ラヴ」。ロックバンド「ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスペリエンス」が、世界で最も人気があり、最も収益の高いツアー活動を行うグループの1つとしてランクインした背景には、この二つの出来事が大きく関係していました。1969年8月のウッドストック・フェスティバルで、ジミが繰り広げたのは圧巻の演奏で、特にエフェクターによる激しいギター・サウンドによってズタズタに破壊し再構築したアメリカ国歌「星条旗」は、ベトナム戦争を続けるアメリカの状況を音で表現し、やがて60年代という時代を象徴する伝説的なパフォーマンスとなっていきました。その後、ベースのビリー・コックス、ドラマーのバディ・マイルズとともに結成した「バンド・オブ・ジブシーズ」として、ニューヨーク・シティのフィルモア・イーストで、1969年の大晦日に2回、1970年の元日に2回と、計4回の歴史的なコンサートを行いました。（これらの公演を記録したライブ・アルバム「ライヴ・アット・ザ・フィルモア・イースト」は、ジミ・ヘンドリックスの没後に制作され、1999年にリリースされました。）

1970年にバンド・オブ・ジブシーズが解散すると、ジミは旧友ミッチ・ミッチェルを呼び戻し、レコーディングやライブを行いました。ジミは、4作目のスタジオ・アルバムを、LPレコード2枚組以上のものにすることを考えており、「ファースト・レイズ・オブ・ザ・ニュー・ライジング・サン」と一時的なタイトルをつけました。1970年9月18日のジミの悲劇的な死後、彼の家族と元スタジオ・エンジニアであるエディ・クレイマーの支援により、このアルバムは、1997年についてリリースされたのです。

オーセンティック・ヘンドリックス社と、エクスペリエンス・ヘンドリックス社について

エクスペリエンス・ヘンドリックス社は、ジミ・ヘンドリックスの父、ジェイムズ・“アル”・ヘンドリックスが1995年に設立したファミリー会社です。社員はすべてアルが社長時代に厳選したヘンドリックス家の一員で構成されます。オフィシャル・オンラインストア、オーセンティック・ヘンドリックス社とともに、永遠に色褪せることのないジミ・ヘンドリックスの遺産を世界規模で管理しています。主な業務はジミの音楽、名前、肖像などの使用权の管理です。エクスペリエンス・ヘンドリックス社とオーセンティック・ヘンドリックス社は、世界中で数百の登録商標を所有しており、ジミ・ヘンドリックスに関する音楽カタログのすべての著作権を所有しています。



RAYMOND WEIL S.A.

Avenue Eugène Lance 36-38 | P.O. Box 1569

1211 GENEVA 26 | SWITZERLAND

info@raymond-weil.ch | raymond-weil.com